

報道関係者各位

クロスキャット、AI・データ活用をテーマに 「第 5 回 OCI ユーザー会」を開催

～AI エージェント体験やデータ活用に関する実践的な講演を通じて、企業の DX 推進を支援～

株式会社クロスキャット（本社：東京都港区、代表取締役社長：山根 光則、以下 クロスキャット）は、2026 年 7 月、日本オラクル株式会社 オラクル青山センターにおいて、「第 5 回 Oracle Cloud Infrastructure (OCI) ユーザー会」を開催しました。

本イベントは、企業における AI 活用への関心が高まる中、その基盤となるデータ活用の重要性も増していることから、OCI をご利用中のお客様や導入を検討されている企業の皆様を対象に、最新技術動向の共有やユーザー同士の情報交換を目的として開催したものです。当日は、AI 活用やデータ活用を推進するための実践的なノウハウや改善点などを共有する貴重な機会となりました。

クロスキャットは、AI・データ活用領域における実践知の提供を通じて、お客様の業務変革を支援しています。AI エージェントやデータ基盤活用へのニーズが高まる中、OCI ユーザー会を継続開催することで、最新技術の実証・共有の場を提供し、企業の DX 推進を加速してまいります。



ORACLE

Partner

 クロスキャット

第 5 回となる今回は、OCI ユーザー企業を中心に 10 社 16 名のお客様にご参加いただきました。基調講演では、日本オラクル株式会社 クラウド事業統括 AI 事業戦略統括 AI Transformation 本部 本部長 佐藤和之氏を講師に迎え、「業務データを AI で活用するユースケースのご紹介」と題して行いまし

た。AI エージェント時代に求められるプラットフォームの全体像をはじめ、店舗・商品分析やサプライチェーン分析、シフト作成などの実践例について紹介いただき、AI を活用した業務改善や意思決定の高度化に向けた具体的なイメージを深めていただきました。続いて、当社 DX 営業統括部の小林翔太、山口環によるハンズオンセッション「Oracle 最新 AI エージェント開発サービスの現在地」を開催しました。Oracle AI Database Private Agent Factory (PAF) を活用し、ノーコードによる AI エージェント構築や業務データ活用の可能性を実際に体験いただきました。最後に、当社 DX 営業統括部の高良龍史より、「データ整備はなぜ進まないのか」と題し、多くの企業が共通して抱えるデータ整備やデータマネジメントの課題について講演を行いました。目的の明確化、業務とデータの可視化、根本原因の特定といった観点から、データ活用の推進に向けた考え方を紹介しました。

参加者アンケートでは、約 90%の参加者から講演内容について「参考になった」との回答がありました。特に、AI エージェント体験セッションについて、約 85%の参加者から「役に立った」との評価をいただき、AI 活用やデータ活用への関心の高さがうかがえる結果となりました。AI 活用に加え、OCI 運用支援やデータ統合基盤 (DWH) への関心が高く、企業におけるデータ活用の重要性が一層高まっていることを再認識する機会となりました。

イベント終了後に開催した懇親会では、参加企業の皆様、日本オラクル株式会社、クロスキャット社員が交流を深め、OCI 活用や AI・データ活用に関する情報交換を行いました。参加者同士がそれぞれの取り組みや課題について意見交換を行うなど、企業や業種の枠を超えたコミュニケーションが生まれ、今後の業務改善や DX 推進につながる有意義な場となりました。

クロスキャットは、今後も OCI ユーザー会をはじめとするコミュニティ活動を通じて、お客様同士の知見共有や交流を促進するとともに、独自の DX 推進支援フレームワーク「CC-Dash」を活用し、AI・データ活用領域における課題解決を支援することで、企業の DX 推進に貢献してまいります。

■CC-Dash(シー・シー・ダッシュ/CC-Digital activation service hub)について

「CC-Dash」(<https://xcc-dash.jp/>) は、データ活用によってお客様の DX 推進を支援する当社独自のフレームワークです。DX を推進する際の各フェーズ (①知る ②つくる ③集める ④整える ⑤分析する ⑥活かす) における様々な課題に対し、テンプレート化と各種コンサルティングサービスをお客様に提供しています。加えてアライアンス等によってソリューションサービスのラインナップを随時追加・拡充していくことで、お客様の DX 推進状況に合わせた支援策をワンストップで提供してまいります。

■クロスキャットが推進するサステナビリティについて

クロスキャットグループは、2023 年 6 月、「IT ソリューションサービスの提供を通じて、お取引先の環境課題をお取引先と一緒に解決する」社会課題解決型ビジネスに取り組む IT 企業グループを目指すべく、サステナビリティ基本方針を制定しました。本業を通して社会課題の解決に取り組む事で、一層のサステナビリティへの取り組みを推進してまいります。<https://www.xcat.co.jp/ja/sustainability.html>

□サステナビリティ基本方針



「人、社会、地球環境との共存と持続的な繁栄のために、私たちクロスキャットグループが行うこと」

クロスキャットグループは、企業理念の「心技の融和」を念頭に、様々な解決すべき社会課題にグループ全社員が常に真摯な姿勢で取り組むことで、お取引先の信頼を得ると共に、広く社会への貢献を目指してきました。これからも IT 社会の変革に果敢に挑戦し、持続可能な未来社会の実現と継続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

パートナーシップによる先端技術の知識習得に向けた今回の取り組みも、そうしたサステナビリティ推進の一環となり、本件は SDGs「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」の貢献を目指した取り組みとなっております。

【本件が貢献する主な SDGs】



※Oracle、Java、MySQL 及び NetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。

※文中に記載された会社名、商品・製品名、サービス名は各社の登録商標または商標です。

■株式会社クロスキャット 会社概要

銀行やクレジット、保険、官公庁など社会インフラ分野を中心に、さまざまなお客様のシステム開発・運用を支援する独立系 IT 企業。システムインテグレーションと BI ビジネスを強みに、DX 推進を含む年間 1,200 件を超える IT プロジェクトを手掛けています。

代表者：代表取締役社長 山根光則

所在地：東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 20 階

設立：1973 年 6 月

事業内容：システム開発、BI ビジネス、自社プロダクト開発・提供

上場市場：東京証券取引所 プライム市場

URL：<https://www.xcat.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社クロスキャット DX 営業統括部：菊地

営業直通電話：03-3474-5201（平日 9:00～17:30） E-mail：sales@xcat.co.jp

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社クロスキャット 経営企画部 広報担当：森田

代表電話：03-3474-5251（平日 9:00～17:30） E-mail：pr@xcat.co.jp